

「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」 ＜アドバンスコース＞ 2026年度開講予定科目概要（36科目：163.5時間）				ベーシック コース
授業科目	担任者（所属）	授業概要	時間	
実践基礎教育プログラム(9科目：計43時間)				
◎異文化コミュニケーション	守崎 誠一(関西大学外国語学部教授)	異文化コミュニケーション分野の理論について言語、非言語コミュニケーション、価値観、宗教観、企業文化、倫理観の視点から学習し、異文化コミュニケーションの現象を多角的に理解・分析する視点を身に付ける。	6	教養(基礎)
◎人を動かす論証型プレゼンテーション	岩崎 千晶(関西大学 教育推進部教授)	経営に関する知識や情報、経験や頭の中で整理し視覚化させるためにプレゼンテーションソフト「プレゼンテーションスキル」を活用して、思考力を高めるための手立てをつける。	5	教養(基礎)
交渉学	唐澤 理恵 (office KARARIE)	交渉相手と良好な信頼関係を構築しながら、最大の利益を得るための交渉戦略、手法を、ビジネスの場面でありがちなケーススタディ等を通して身に付ける。	5	教養(基礎)
伝える文章作成技法	毛利 美穂(関西大学プログラム・アドバイザー)	経営に関する情報や課題の本質を捉え、様々な判断の根拠を示し比較検討をするためのクリティカルシンキング「ロジカルライティング」の技法を身に付ける。	2	教養(基礎)
◎経営戦略	吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	海外進出の目的を、二つの経営戦略、すなわち企業戦略(成長戦略)的視点と競争戦略的視点から、今注目されている代表的な経営戦略論によるアプローチや、様々な企業事例等を通して明確にする。	6	教養(専門)
◎国際マーケティング	馬場 一(関西大学商学部准教授)	国際マーケティングの戦略(国際マーケティングリサーチ、参入意思決定、STP)及び戦術(マーケティング・ミックス)を体系的に学び、事例を通じてその理解を深める。	4	専門
◎子会社経営で直面する課題(ケーススタディ)	根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	子会社経営でよく直面する課題(人間関係、リスク管理、人事労務問題、子会社と親会社の関係等)について、ディスカッションを通じ、自分の問題としてその解決策を考える。	6	専門
◎組織・運営戦略	厩代 徳文 (りそな総合研究所コンサルタント、社会保険労務士)	グローバル視点で立案した経営戦略を実行していく上で、どう組織を構築し動かしていくのか、どう人材を確保・育成しパフォーマンスを上げていくのか、そしてどう評価し報酬に結び付けていくのかを考える。	6	-
経営・人事戦略	筒井 真紀 (りそな総合研究所コンサルタント、社会保険労務士)	他社事例を踏まえつつ人的資本経営について理解を深めるとともに、自社におけるグローバルおよび経営戦略を踏まえたうえで、それを実現する人事戦略のあり方について構築する。	3	-
専門教育プログラム(16科目：計77時間)				
◎ASEANの宗教・文化	酒井 真道(関西大学文学部教授) 小杉 麻季亜(関西大学文学部准教授)	ASEANでは、イスラム教、上座部仏教、ヒンズー教等の宗教が生活の隅々まで影響を与えており、現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5	教養(基礎)
◎海外経営のための企業会計入門	柴 健次(関西大学名誉教授)	会計は異文化コミュニケーションの強力なツールであるという視点に立ち、会計の基礎力と業務知識を深め、ファイナンスの思考回路と会計の思考回路の相違を理解する。	6	教養(専門)
◎海外経営のための会計情報の利用		企業での問題がどのように会計情報にされるのかを考察し、逆に会計情報の変化から企業の状況の変化を読み解く。	6	-
◎海外経営のための管理会計	大西 靖(関西大学大学院会計研究科、経済学部教授)	企業の経営管理において、必要不可欠な原価計算及び管理会計に関する知識を修得する。	6	専門
◎海外経営と国際租税法	中村 繁隆(関西大学大学院会計研究科教授)	日本の親法人との取引を題材に、現地国の国内租税法と租税条約の関係を学習し、国際租税法の基本思考を習得する。	5	専門
海外赴任者との接続授業	三島 徹也(関西大学大学院会計研究科教授)	海外赴任中の終了生と接続し、海外の実情や海外赴任の実態を学び、またケーススタディを学ぶことで、赴任時のリスクヘッジを身に付ける。	2	-
◎ASEAN経済	後藤 健太(関西大学経済学部教授)	ASEANで広がる生産・流通ネットワークの実態と、産業高度化の課題と可能性を、グローバル・バリューチェーンの分析枠組みを用い、日系企業の視点から明らかにし、その国際化戦略の策定に必要な能力を養う。	5	教養(専門)
グローバル経済	高屋 定美(関西大学商学部教授)	変動の激しい世界経済の動きを客観的に理解し、海外子会社を運営する上で必要な世界経済と進出先の経済の動向、そして将来を分析できる能力を、グループワークを通して身に付ける。	4	教養(専門)
◎ASEAN発展論	北波 道子(関西大学経済学部教授)	アジア経済のダイナミクスを理解し、それに伴う製造業の生産拠点移動など、一定の法則性を理解する。	5	専門
◎日本の経営思想	田中 一弘 (一橋大学大学院経営管理研究科教授)	日本企業の経営は、江戸時代以来の日本の経営の思想が連続と引き継がれている。現地の方に、それを理解してもらえらるよう、日本の経営思想の歴史と手法を学習する。	6	専門
◎中国経済の現状と課題	梶谷 懐 (神戸大学大学院経済学研究科教授)	中国の市場化のプロセスを分解し、中国の国家資本政策と外資政策に関する知識を習得したうえで、いくつかの事例の考察を通じて、さらに実践的に理解する。	4	-
◎ASEANの地理・歴史 —経済的影響と戦略—	野間 晴雄(関西大学名誉教授)	ASEANの国々に現地赴任し、海外子会社を運営したり海外で直面する課題を解決したりする上で必要となる、実践的な生活の知恵と現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5	-
ASEAN法律制度	西澤 希久男(関西大学政策創造学部教授)	ASEANにおいて、海外子会社を運営する際に直面する問題に対応するため、とくに紛争処理及び消費者保護に関する法律に焦点を絞り、各国の法制度の概要、特徴、及び問題点を学ぶ。	6	専門
海外展開のためのM&A	牧野 信夫 (株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	ケーススタディを通じて、グローバル企業に特有の問題点、組織論、人材活用、リーダーシップに関するトピックに焦点をあてることにより、発展段階に必要な人材の質を理解する。	6	-
リスクマネジメント(仮称)	徳常 泰之(関西大学商学部教授)	企業の管理者として外部環境の変化への対応がいかにリスクマネジメントとして重要であるかの理解を深める。また「リスク面」からリスク認識と対策についての講義を行う。	3	-
サイバーセキュリティ(仮称)	小林 孝史(関西大学総合情報学部准教授)	広範囲にわたるITセキュリティ、ネットワークセキュリティについて講義する。	3	-
実践応用教育プログラム(7科目：計36時間)				
海外事業体(子会社)におけるコンプライアンス体制	野本 隆 (元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	コンプライアンスについては、違反防止に向けた体制の整備と行動指針を考え、立案した行動・改善計画等の成果を発表する。	3	-
◎海外事業体における管理者の役割と責任	高橋 正典 (元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	講師の4ヶ国の海外事業体での学びを失敗経験も含めた多くの実例として紹介し、各自の意識の醸成、行動・改善計画の立案に結び付ける授業を展開する。	6	専門
海外派遣者のためのストレスマネジメント	池見 陽(関西大学名誉教授) 川端 康雄(大阪医科大学 臨床心理士)	海外生活をする上で必要なストレス・コントロール法の獲得する。海外で直面する課題を解決する手法を学ぶ。	6	専門
◎企業成長のための海外進出事業戦略	牧野 信夫 (株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	事前学習で具体的な海外進出事業計画フレームワークの作り方を学習し、各受講生が自分の海外進出事業計画フレームワークを作成し発表する。	3	-
◎グローバル企業の人材育成	同上	グローバル人材の定義・要件設定を行い、それに沿った人材育成を行う組織と教育の在り方を理解する。	6	教養(専門)
◎子会社経営で直面する課題 -人事労務政策-	根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	海外子会社で直面する人事労務政策にかかわる課題において、経営者としてどのように考え、行動するべきかを事例・ディスカッションを通して考え、説明する。	6	-
◎経営者の戦略的役割	吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	経営者としての戦略的役割の中で、特に社員を引っ張る「リーダーシップ」を身に付けること、「経営管理力」を発揮することなどに焦点を当てる。	6	-
テーマスタディ(4テーマ：計7.5時間)				
「これからの世界に日本はどう立ち向かうのか」 「現代インドの政治と経済」 「海外での知的財産権」 「行政と民間のパートナーシップ」 ～官民連携で付加価値向上に取り組む～	大武 健一郎(元国税庁長官) 稲味 敦(関西大学政策創造学部教授) 講師選定中 講師選定中	世界情勢や知的財産など、現代的課題にフォーカスする。	7.5	-

※厚生労働省所管の「教育訓練給付金(個人への給付)」または「人材開発支援助成金(企業への助成)」の申請者のみ、◎のついている科目を必修とします。申請されない方は、全科目自由選択となります。

※開講科目・時間数は、若干増減・変更する可能性があります。

「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」
〈ベーシックコース〉
2026年度開講予定科目概要（19科目：100時間）

授業科目		担任者(所属)	授業概要	時間
教養科目(全10科目:計50時間):全科目必修				
教養 (基礎)	異文化コミュニケーション	守崎 誠一(関西大学外国語学部教授)	異文化コミュニケーション分野の理論について言語、非言語コミュニケーション、価値観、宗教観、企業文化、倫理観の視点から学習し、異文化コミュニケーションの現象を多角的に理解・分析する視点を身に付ける。	6
	ASEANの宗教・文化	酒井 真道(関西大学文学部教授) 小杉 麻季亜(関西大学文学部准教授)	ASEANでは、イスラム教、上座部仏教、ヒンズー教等の宗教が生活の隅々まで影響を与えており、現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5
	人を動かす論証型プレゼンテーション	岩崎 千晶(関西大学 教育推進部教授)	経営に関する知識や情報、経験を頭の中で整理し視覚化させるために「シンキングチャート」「プレゼンテーションスキル」を活用して、思考力を高めるための手立てとする。	5
	交渉学	唐澤 理恵 (office KARARIE)	交渉相手と良好な信頼関係を構築しながら、最大の利益を得るための交渉戦略、手法を、ビジネスの場面でありがちなケーススタディ等を通して身につける。	5
	伝わる文章作成技法	毛利 美穂(関西大学プログラム・アドバイザー)	経営に関わる情報や課題の本質を捉え、様々な判断の根拠を示し比較検討をするための「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」の技法を身につける。	2
教養 (専門)	グローバル企業の人材育成	牧野 信夫(株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	グローバル人材の定義・要件設定を行い、それに沿った人材育成を行う組織と教育の在り方を理解する。	6
	海外経営のための企業会計入門	柴 健次(関西大学名誉教授)	会計は異文化コミュニケーションの強力なツールであるという視点に立ち、会計の基礎力の養成に力を置く。ファイナンスの思考回路と会計の思考回路の相違を理解する。	6
	ASEAN経済	後藤 健太(関西大学経済学部教授)	ASEANで広がる生産・流通ネットワークの実態と、産業高度化の課題と可能性を、グローバル・バリュー・チェーンの分析枠組みを用い、日系企業の視点から明らかにし、その国際化戦略の策定に必要な能力を養う。	5
	グローバル経済	高屋 定美(関西大学商学部教授)	変動の激しい世界経済の動きを客観的に理解し、海外子会社を運営する上で必要な世界経済と進出先の国の経済の動向、そして将来を分析できる能力を、グループワークを通して身につける。	4
	経営戦略	吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	海外進出の目的を、二つの経営戦略、すなわち企業戦略(成長戦略)的視点と競争戦略的視点から、今注目されている代表的な経営戦略論によるアプローチや、様々な企業事例等を通して明確にする。	6
専門科目(3系列:全9科目:計50時間)				
経済・法律系	ASEAN発展論	北波 道子(関西大学経済学部教授)	アジア経済のダイナミクスを理解し、それに伴う製造業の生産拠点移動など、一定の法則性を理解する。	5
	ASEAN法律制度	西澤 希久男(関西大学政策創造学部教授)	ASEANにおいて、海外子会社を運営する際に直面する問題に対応するため、とくに紛争処理及び消費者保護に関する法律に焦点を絞り、各国の法制度の概要、特徴、及び問題点を学ぶ。	6
	海外経営と国際租税法	中村 繁隆(関西大学大学院会計研究科教授)	日本の親法人との取引を題材に、現地国の国内租税法と租税条約の関係を学習し、国際租税法の基本思考を習得する。	5
経営系	海外経営のための管理会計	大西 靖(関西大学大学院会計研究科、経済学部教授)	企業の経営管理において、必要不可欠な原価計算及び管理会計に関する知識を修得する。	6
	日本の経営思想	田中 一弘(一橋大学大学院経営管理研究科教授)	日本企業の経営は、江戸時代以来の日本の経営の思想が連続と引き継がれている。現地の方に、それを理解してもらえよう、日本の経営思想の歴史と手法を学習する。	6
	国際マーケティング	馬場 一(関西大学商学部准教授)	国際マーケティングの戦略(国際マーケティングリサーチ、参入意思決定、STP)及び戦術(マーケティング・ミックス)を体系的に学び、事例を通してその理解を深める。	4
マネジメント系	海外派遣者のためのストレスマネジメント	池見 陽(関西大学名誉教授) 川端 康雄(大阪医科薬科大学 臨床心理士)	海外生活をする上で必要なストレス・コントロール法の獲得する。海外で直面する課題を解決する手法を学ぶ。	6
	海外事業体における管理者の役割と責任	高橋 正典 (元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	講師の4ヶ国の海外事業体での学びを失敗経験も含めた多くの実例として紹介し、各自の意識の醸成、行動・改善計画の立案に結び付ける授業を展開する。	6
	子会社経営で直面する課題(ケーススタディ)	根田 忠(元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	子会社経営でよく直面する課題(人間関係、リスク管理、人事労務問題、子会社と親会社の関係等)について、ディスカッションを通じ、自分の問題としてその解決策を考える。	6

【修了要件】

下記に基づき、70時間以上の科目に合格することを修了要件とし、修了者には「履修証明書」を授与する。

①「教養(基礎)」及び「教養(専門)」合計10科目50時間は必修とする。

②「専門」については、『経済・法律系』『経営系』『マネジメント系』の中から1つの系を選択し、当該系に開設する全科目(必修)を含め、専門科目(3系列:全9科目:計50時間)の中から合計20時間以上の科目を受講する。